

網走市大空町定住自立圏共生ビジョン

平成 23 年 9 月

網走市

目 次

第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

1. 定住自立圏の概要とこれまでの取組	1
2. 定住自立圏の名称及び構成市町	1
3. 定住自立圏共生ビジョンの目的	2
4. 定住自立圏共生ビジョンの計画期間	2

第2章 定住自立圏に係る圏域の概況と現状

1. 圏域の概況	2
2. 圏域の現状と課題	12

第3章 圏域の将来像

第4章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1. 取組の体系	19
I 生活機能の強化に係る具体的取組	20
II 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組	31
III 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組	33

第5章 共生ビジョン事業一覧

参考資料 懇談会における意見等一覧	49
-------------------	----

第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

1. 定住自立圏の概要とこれまでの取組

地方は今、人口減少、少子高齢化が進行するなか、生活基盤が衰退し、このままでは単独の市町村だけでフルセットの行政サービスを提供することは困難になってくることが懸念されます。

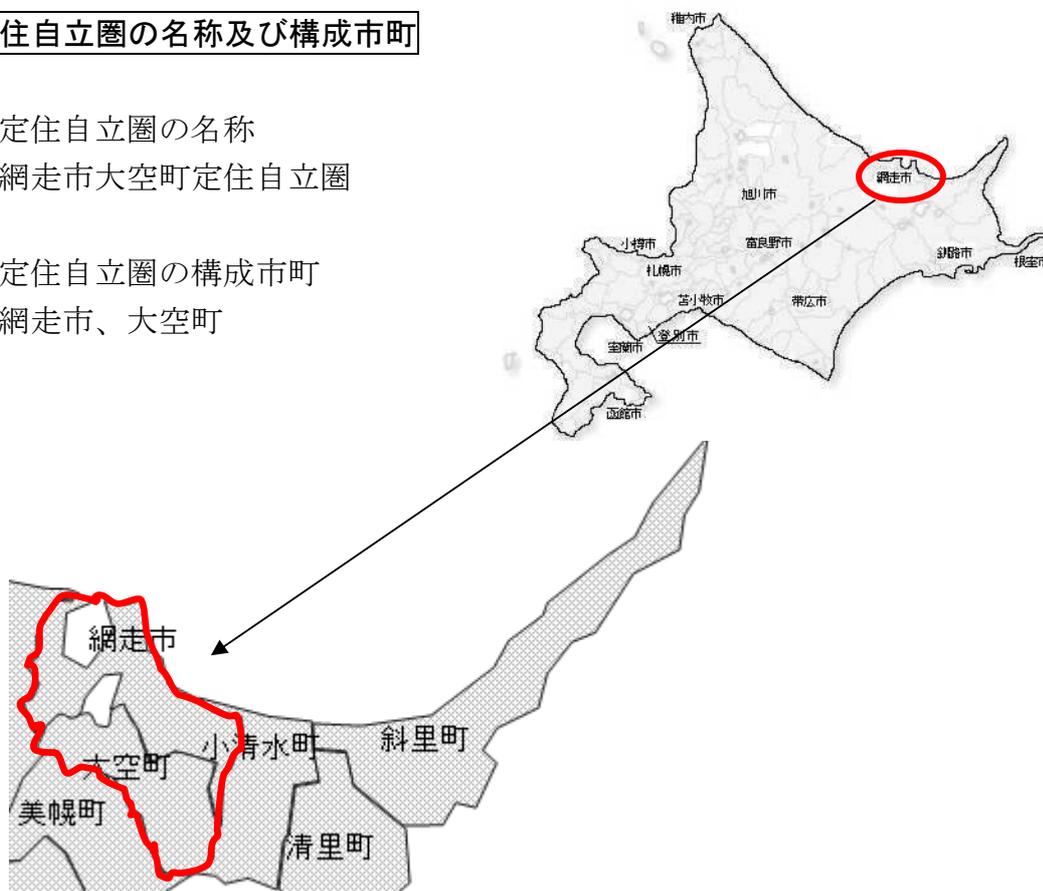
このため、定住自立圏構想は、住民の生活環境が密接に関係している地域を一つの圏域と捉え、「定住」のために必要な生活機能である医療、福祉、教育、公共交通などを単体の市町村ではなく、圏域総体として確保するとともに、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培い、全体として魅力あふれる圏域を形成していくことを目的としています。

網走市は、昨年9月2日に中心的な役割を担う意思を表明する「中心市宣言」を行い、宣言に賛同した大空町と、定住自立圏形成に関する取組内容等について協議を行ってきました。

本年、その基本的な考え方がまとまったことから、定住自立圏形成協定を両市町の議会へ提案し、その議決を経て、3月23日に網走市と大空町との間で、1対1の協定を締結しました。

2. 定住自立圏の名称及び構成市町

- (1) 定住自立圏の名称
網走市大空町定住自立圏
- (2) 定住自立圏の構成市町
網走市、大空町



3. 定住自立圏共生ビジョンの目的

本共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行
応第39号総務次官通知）第6の規定により、先に締結した定住自立圏形成協
定に基づき、両市町が連携して推進する取組について、内容やスケジュール、
事業費見込み等の具体的内容を記載するものです。

4. 定住自立圏共生ビジョンの計画期間

本共生ビジョンの計画期間は、平成23年度から平成27年度までの5年間
とし、毎年度所要の見直しを行います。

第2章 定住自立圏に係る圏域の概況と現状

1. 圏域の概況

本圏域は、北海道オホーツク管内の東部に位置し、網走国定公園として指定
されている網走湖、能取湖、藻琴湖をはじめ、ラムサール条約登録湿地の濤沸
湖などがあり、美しい水辺に囲まれた圏域です。

また、広大な大地には、新緑、芝桜、ひまわり、サンゴ草と四季の移り変わ
りが鮮明で美しい景色が見られる自然豊かな地域です。

本圏域を構成している両市町は、歴史的に深いつながりを有しており、旧女
満別村は大正10年に旧網走町から分村、また、旧東藻琴村は、昭和22年の
網走市制施行と同時に分村しています。その後、平成18年に女満別町と東藻
琴村が合併し、現在の大空町となっています。

このような歴史的結びつきを持つ両市町は、生活排水やし尿の共同処理をは
じめ、網走地区消防組合（一部事務組合）や女満別空港国際チャーター便誘致
協議会を組織するなど、これまでも広域的な取組を行ってきました。

また、本圏域は、通勤・通学、医療・福祉、教育、買い物など、日常的な生
活の各分野においても、行政区域を越えた生活圏を形成し、あらゆる面で結び
つきが強固な地域です。

【1市1町の概況】



網走市 ～ 豊かなオホーツクに活みなぎるまち 網走 ～

網走市は、北海道オホーツク管内の東部に位置し、オホーツク海に面しています。市内には、大小5つの湖と天都山と呼ばれる小高い山があり、起伏と変化に富んだ景観を形成しています。また、網走市は、網走国定公園に位置しており、市内の濤沸湖は2005年11月、ラムサール条約登録湿地になりました。さらに阿寒国立公園や世界自然遺産に登録された知床国立公園が隣接し、自然公園に囲まれた地域となっています。

春から夏にかけて咲き乱れる様々な植物、広大な農地に広がる作物の絨毯、鮮やかな色合いを見せる秋の木々たち、白一色に覆われる流氷を迎える冬、オホーツクの海や湖と澄んだ青空のなかで、それぞれの四季の移ろいを感じられるまちです。

オホーツク海の漁場からは、サケ、カニをはじめとする豊富な海産物が水揚げされ、網走湖や能取湖、藻琴湖、濤沸湖では、シジミやホタテ、カキなどの養殖が盛んに行われています。

また、肥沃な農地を背景に畑作と酪農の大規模な経営が行われており、麦類や馬鈴しょ、てん菜、肉類や牛乳などが出荷されています。



大空町 ～ 大空と大地の中でふれあいと語らいで創る 感動のまち ～

大空町は、平成18年3月31日、女満別町と東藻琴村が合併して誕生しました。北は美しい水辺と豊富な水産資源に恵まれた網走湖に面し、南は屈斜路湖を望む大パノラマが広がる藻琴山がそびえています。

中央は、麦類、馬鈴しょ、てん菜を中心とした広大な畑作地帯で、西部の網走川沿岸の平地は、日本最東端にある稲作地帯となっています。また、南部は、藻琴山山麓の高原を中心に酪農地帯となっていることから、個性的な乳製品や肉用牛の一大産地としての役割も担っています。

また、昭和31年に札幌までの定期便が開設された女満別空港は、昭和55年の羽田便の就航、昭和60年のジェット化を経て、東北海道の玄関口となっています。

さらに、北に網走国定公園、南に阿寒国立公園に隣接し、世界自然遺産である知床国立公園や北見市、網走市など近隣諸都市へのアクセスの拠点という側面もあります。そのため、網走湖などの水環境やヨーロッパを彷彿させる農村景観、食の魅力など地域資源を活用したまちづくりを進めています。

【人口・世帯の推移】

人口の推移では、平成2年と平成17年の数値を比較すると、両市町とも5%以上減少しています。

また、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計）」によると平成42年には、両市町の推計人口は3万8千人となることも予想されています。

表 人口の推移

(単位：人)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	H2/H17年
網走市	44,416	44,176	43,395	42,045	△2,371
	0.3%	△0.5%	△1.8%	△3.1%	△5.3%
大空町	9,238	8,992	8,946	8,392	△846
	△2.0%	△2.7%	△0.5%	△6.2%	△9.2%

注) 下段は対前期増減率
出典：国勢調査

表 世帯数の推移

(単位：世帯)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	H2/H17年
網走市	15,838	17,469	18,012	17,982	2,144
	6.9%	10.3%	3.1%	△0.2%	13.5%
大空町	2,759	2,902	3,088	3,014	255
	△0.5%	5.2%	6.4%	△2.4%	9.2%

注) 下段は対前期増減率
出典：国勢調査

【年齢別人口の推移】

年齢別人口の推移では、平成2年と平成17年を比較すると、年少人口の構成比は、両市町とも約6ポイント減少しているのに対し、高齢者人口の構成比は、両市町とも10ポイント前後増加し、少子高齢化が進んでいることが分かります。

生産年齢人口の構成比は、両市町ともに減少傾向にあります。

表 年少人口の推移（0～14歳）

(単位：人)

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	H2/H17年
網走市	8,570	7,232	6,214	5,508	△3,062
	19.3%	16.4%	14.3%	13.1%	△6.2 ^{ポイント}
大空町	1,855	1,549	1,395	1,201	△654
	20.1%	17.2%	15.6%	14.3%	△5.8 ^{ポイント}

注) 下段は総人口に占める割合
出典：国勢調査

表 生産年齢人口の推移（15～64歳）

（単位：人）

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	H2/H17年
網走市	30,945 69.7%	30,824 69.8%	29,859 68.8%	28,119 66.9%	△2,826 △2.8 ^{ポイント}
大空町	6,014 65.2%	5,687 63.3%	5,501 61.5%	4,957 59.1%	△1,057 △6.1 ^{ポイント}

注) 下段は総人口に占める割合
出典：国勢調査

表 高齢者人口の推移（65歳以上）

（単位：人）

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	H2/H17年
網走市	4,901 11.0%	6,120 13.8%	7,322 16.9%	8,418 20.0%	3,517 9.0 ^{ポイント}
大空町	1,352 14.7%	1,756 19.5%	2,050 22.9%	2,234 26.6%	882 11.9 ^{ポイント}

注) 下段は総人口に占める割合
出典：国勢調査

【産業別就業人口の推移】

産業別就業人口の推移では、両市町とも第三次産業であるサービス業、卸売・小売業、飲食店などの就業者が高い割合を占めていますが、農業が基幹産業である大空町は、第一次産業の就業者も全体の約4割と高い割合を占めています。

表 第一次産業就業人口の推移

（単位：人）

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	H2/H17年
網走市	2,889 13.2%	2,439 10.9%	2,392 11.0%	2,228 11.3%	△661 △2.1 ^{ポイント}
大空町	2,196 43.2%	1,965 39.1%	1,832 37.4%	1,784 40.4%	△412 △2.8 ^{ポイント}

注) 下段は全就業人口に占める割合
出典：国勢調査

表 第二次産業就業人口の推移

（単位：人）

市町名	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	H2/H17年
網走市	4,710 21.6%	5,140 23.0%	4,937 22.7%	3,800 19.2%	△910 △2.7 ^{ポイント}
大空町	800 15.7%	852 17.0%	813 16.6%	541 12.3%	△259 △3.4 ^{ポイント}

注) 下段は全就業人口に占める割合
出典：国勢調査

表 第三次産業就業人口の推移

(単位：人)

市町名	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	H2/H17 年
網走市	14,251 65.2%	14,793 66.1%	14,446 66.3%	13,763 69.5%	△488 3.3 ^{ポイント}
大空町	2,089 41.1%	2,207 43.9%	2,254 46.0%	2,088 47.3%	△1 6.2 ^{ポイント}

注) 下段は全就業人口に占める割合
出典：国勢調査

【事業所の推移】

事業所の推移では、平成 3 年と平成 18 年を比較すると、両市町ともに事業所数及び従業者数が減少しています。雇用の減少は、人口減少の要因の一つとなっています。

表 事業所数の推移

(単位：事業所)

市町名	平成 3 年	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	H3/H18 年
網走市	2,333 1.3%	2,241 △3.9%	2,179 △2.8%	2,214 1.6%	△119 △5.1%
大空町	456 △3.6%	432 △5.3%	405 △6.3%	362 △10.6%	△94 △20.6%

注) 下段は対前期増減率、平成 3 年対前期増減率は昭和 61 年調査と比較
出典：事業所・企業統計調査

表 従業者数の推移

(単位：人)

市町名	平成 3 年	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	H3/H18 年
網走市	21,317 7.3%	22,126 3.8%	21,621 △2.3%	19,959 △7.7%	△1,358 △6.4%
大空町	3,443 8.0%	3,764 9.3%	3,556 △5.5%	3,093 △13.0%	△350 △10.2%

注) 下段は対前期増減率、平成 3 年対前期増減率は昭和 61 年調査と比較
出典：事業所・企業統計調査

【工業の推移】

工業の推移では、平成5年と平成20年を比較すると、両市町ともに事業所数及び従業者数が減少していますが、製造品出荷額等は、直近の平成15年と比較すると、両市町とも増加しています。

表 事業所数（4人以上の事務所）の推移

(単位：事業所)

市町名	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	H5/H20年
網走市	107 △0.9%	87 △18.7%	54 △37.9%	67 24.0%	△40 △37.4%
大空町	14 0%	14 0%	12 △14.3%	10 △16.7%	△4 △28.6%

注) 下段は対前期増減率、平成5年対前期増減率は平成元年調査と比較
出典：工業統計調査

表 従業員数の推移

(単位：人)

市町名	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	H5/H20年
網走市	2,343 10.8%	2,307 △1.5%	1,618 △29.9%	1,595 △1.4%	△748 △31.9%
大空町	306 5.9%	260 △15.0%	188 △27.7%	236 25.5%	△70 △22.9%

注) 下段は対前期増減率、平成5年対前期増減率は平成元年調査と比較
出典：工業統計調査

表 製造品出荷額等の推移

(単位：万円)

市町名	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	H5/H20年
網走市	3,858,009 10.2%	4,075,091 5.6%	3,301,187 △19.0%	4,446,196 34.7%	588,187 15.2%
大空町	410,501 4.9%	386,717 △5.8%	206,264 △46.7%	249,538 21.0%	△160,963 △39.2%

注) 下段は対前期増減率、平成5年対前期増減率は平成元年調査と比較
出典：工業統計調査

【商業の推移】

商業の推移では、平成3年と平成19年を比較すると、全体的に減少しています。特に、網走市の年間商品販売額は、直近の平成14年と比較すると、約3割減少しています。

表 商店数（卸、小売業）の推移

(単位：事業所)

市町名	平成3年	平成9年	平成14年	平成19年	H3/H19年
網走市	631 1.9%	555 △12.0%	541 △2.5%	500 △7.6%	△131 △20.8%
大空町	132 △6.4%	103 △22.0%	87 △15.5%	81 △6.9%	△51 △38.6%

注) 下段は対前期増減率、平成3年対前期増減率は昭和60年調査と比較
出典：商業統計調査

表 従業員数の推移

(単位：人)

市町名	平成3年	平成9年	平成14年	平成19年	H3/H19年
網走市	3,592 3.7%	3,530 △1.7%	3,834 8.6%	3,496 △8.8%	△96 △2.7%
大空町	476 △13.3%	489 2.7%	443 △9.4%	414 △6.5%	△62 △13.0%

注) 下段は対前期増減率、平成3年対前期増減率は昭和60年調査と比較
出典：商業統計調査

表 年間商品販売額の推移

(単位：万円)

市町名	平成3年	平成9年	平成14年	平成19年	H3/H19年
網走市	10,388,124 13.5%	10,754,765 3.5%	11,255,888 4.7%	7,914,051 △29.7%	△2,474,073 △23.8%
大空町	2,578,700 45.5%	1,785,100 △30.8%	1,524,004 △14.6%	1,479,806 △2.9%	△1,098,894 △42.6%

注) 下段は対前期増減率、平成3年対前期増減率は昭和60年調査と比較
出典：商業統計調査

【農業の推移】

農業の推移では、平成12年と平成22年を比較すると、両市町ともに農家戸数及び農業就業人口が減少しているのに対し、経営耕地総面積は増加傾向にあり、農家の経営規模の拡大化が進んでいることが分かります。

表 農家戸数の推移

(単位：戸)

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	H12/H22年
網走市	451 —	406 △10.0%	357 △12.1%	△94 △20.8%
大空町	569 —	523 △8.1%	479 △8.4%	△90 △15.8%

注) 下段は対前期増減率
出典：世界農林業センサス・農林業センサス

表 農業就業人口の推移

(単位：人)

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	H12/H22年
網走市	1,363 —	1,235 △9.4%	1,067 △13.6%	△296 △21.7%
大空町	1,773 —	1,679 △5.3%	1,549 △7.7%	△224 △12.6%

注) 下段は対前期増減率
出典：世界農林業センサス・農林業センサス

表 経営耕地総面積の推移

(単位：a)

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	H12/H22年
網走市	1,146,852 —	1,136,418 △0.9%	1,263,826 11.2%	116,974 10.2%
大空町	1,261,604 —	1,266,777 0.4%	1,306,608 3.1%	45,004 3.6%

注) 下段は対前期増減率
出典：世界農林業センサス・農林業センサス

表 農業産出額

(単位：億円)

平成18年	全国	北海道	オホーツク	北海道/全国	オホーツク/北海道
農業産出額	86,321	10,527	1,711	12.2%	16.3%

※オホーツクの農業産出額うち、網走市は203億円、大空町は146億円

出典：生産農業所得統計

【漁業の推移】

海面漁業（オホーツク海）では、サケをはじめ、ホタテ、スケトウダラ、キンキ、マス、タコ、カニなどが、また、内水面漁業（藻琴湖、濤沸湖、網走川、網走湖、能取湖）では、ホタテをはじめシジミ、ワカサギ、チカ、カキなどが水揚げされています。

平成21年の海面漁業と内水面漁業の内訳は、漁獲量は海面漁業が89.5%、内水面漁業が10.5%、生産額は海面漁業が84.7%、内水面漁業が15.3%となっています。

表 漁獲量の推移

(単位：t)

市町名	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
網走市	52,303.4 △5.6%	60,095.5 14.2%	57,711.2 △4.0%	58,155.4 0.8%
大空町	310.4 △6.9%	322.8 4.0%	269.3 △16.6%	296.2 10.0%

注) 下段は対前期増減率
出典：網走市水産漁港課

表 漁業生産額の推移

(単位：千円)

市町名	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
網走市	11,102,486 2.2%	12,441,090 12.1%	12,228,226 △1.7%	10,207,986 △16.5%
大空町	190,233 △4.9%	205,789 8.2%	195,851 △4.8%	187,408 △4.3%

注) 下段は対前期増減率
出典：網走市水産漁港課

【観光の推移】

観光入込客総数の推移では、平成19年と平成22年を比較すると、網走市は約2割減少しているのに対し、大空町はほぼ横ばいの状況となっています。

宿泊客延数の推移では、両市町とも減少傾向にあります。特に網走市の場合、平成19年と平成22年を比較すると、約3割も減少しており、大空町の減少率を大幅に上回っています。

女満別空港の利用者数の推移では、毎年10%前後減少し続けており、平成19年と平成22年を比較すると、約3割近くの25万人余りの利用者の減少が見られます。

表 観光入込客総数の推移

(単位：千人)

市町名	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	H19/H22年
網走市	1,668.4 △0.8%	1,371.4 △17.8%	1,283.3 △6.4%	1,336.6 4.2%	△331.8 △19.9%
大空町	837.2 △4.4%	827.7 △1.1%	792.6 △4.2%	856.1 8.0%	18.9 2.3%

注) 下段は対前期増減率
出典：北海道オホーツク総合振興局

表 宿泊客延数の推移

(単位：千人)

市町名	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	H19/H22年
網走市	630.5 10.0%	504.6 △20.0%	460.2 △8.8%	444.2 △3.5%	△186.3 △29.5%
大空町	18.1 △21.0%	17.7 △2.2%	16.3 △7.9%	15.7 △3.7%	△2.4 △13.3%

注) 下段は対前期増減率
出典：北海道オホーツク総合振興局

表 女満別空港利用者数の推移

(単位：人)

空港名	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	H19/H22年
女満別 空 港	941,834 △13.0%	881,542 △6.4%	760,728 △13.7%	684,880 △10.0%	△256,954 △27.3%

注) 下段は対前期増減率
出典：北海道オホーツク総合振興局

2. 圏域の現状と課題

【医療の分野】

近年、がんや脳卒中、心疾患、糖尿病などの生活習慣病が増加し、また、医療の高度化・専門化が進む中で、発病から治癒に至るまでを一人の医師や、一つの医療機関で対応することが難しくなっています。

こうした中、地域医療体制を維持・確保するためには、急性期などの濃厚な治療を必要とする時期、リハビリを含めた回復期、その後の定期的な検査・指導を必要とする時期などで、かかりつけ医、専門病院、地域センター病院による連携が必要です。

地域の自治体病院等の医師不足が深刻化している現状にあって、さらに、近年は軽易な病状で安易に救急病院を利用するコンビニ受診が、医療従事者の心身を疲弊させ、深刻な問題となっています。また、地方での医師不足や、小児科・産科など診療科の偏在を生じさせている医療従事者の不足解消に向けては、国の抜本的な対応が必要です。

圏域で安定的に持続可能な救急医療や小児科・産科体制を整えるためには、医療を支える医療従事者の使命感に頼ることなく、住民と医療機関、行政が地域医療の知識や適正受診などに関する情報を共有し、緊密な連携を持つことが重要です。

また、公共交通機関や自家用車などの移動手段を持たない郊外地区の住民にとって、病院や診療所で受診する機会を確保する取組が必要です。

【広域観光の分野】

近年の観光客の動向は、単に観光施設等を見てまわる物見遊山的な団体旅行から、知的好奇心を満たす学習型・体験型の個人旅行へと大きく転換しています。また、長引く景気低迷の影響から安い、近い、短い、のいわゆる「安・近・短」の旅行傾向が強まっています。

このような中、海外からの誘客促進にも力を注いできましたが、海外観光客の標準的な旅行日程は4泊以上であることから、一つの自治体だけでの取り組みには限界があり、それぞれの地域の魅力をつなげる周遊コースを設定することにより、観光メニューのポテンシャルの拡大や、多様性の確保につなげていくことが必要です。

そのためにもオホーツク地域、道東地域の市町村の連携が不可欠ですが、各自治体間で観光施策に対する温度差もあり、具体的な施策を策定することは、現実的になかなか難しい状況もあるため、「北網地域活性化協議会」や「女満別空港国際チャーター便誘致協議会」、「ひがし北海道観光事業開発協議会」等の取組の中で各自治体が連携を強化して事業展開を図ることが求められています。また、女満別空港の国際チャーター便が激減している中、北海道による空港着陸料の全額免除や、北網地域活性化協議会の協力による空港ビル使

料の全額免除など、女満別空港の優位性を図るとともに、女満別空港の利用者が減少し続ける中、女満別空港全体の活性化と賑わいを創出するための取組を進めており、他地域とのなお一層の差別化を図っていくことが重要です。

さらに、本年3月に発生した東日本大震災並びに原子力発電所の事故による風評被害から、国内外からの観光客が激減しているため、道東地域が安全安心であることを、プロモーション事業等を積極的に展開しながら、継続して発信していくことが必要であり、より効果的なPRを行なうためにも、今後さらに広域的な事業展開を図ることが重要となります。

【教育の分野】

圏域にある図書館3館には合計36万余冊の蔵書があり、それぞれインターネットによる蔵書検索が行え、利用者の利便性が図られています。

体育施設では、中学校体育連盟などによる大きな体育行事が開催される場合は、圏域の施設を利用して広域的な受入が行われており、大空町の一部の小学校では、スキー授業が網走市営スキー場を利用して行われています。今後は、さらなる相互利用の促進を図っていくための方策や仕組みづくりが課題です。

両市町では、文化・スポーツ活動の一環として、数多く講演やイベント等がそれぞれ開催されています。圏域における「人」の交流が盛んに行われることは、地域の活性化につながることから、圏域住民がイベント等の情報を共有し、相互に参加することが重要となります。

【環境の分野】

藻琴湖は、藻琴川流域が軽しような火山性土壌から構成され、起伏の大きい流域であることから、降雨・融雪時に土砂が流入し、湖面積が年々減少しています。また、網走湖は、湖内の富栄養化の進行に伴うアオコの発生や下層の無酸素塩水層が強風で浮上することにより生ずる青潮などの水質障害が発生しています。

こうしたことから、河川流域の関係機関が連携を図りながら、土砂流出防止対策をはじめとする河川環境の保全や湖の水質改善を図る取組が必要です。

圏域では、ごみの減量化と資源循環型社会の構築に向け、家庭ごみの有料化をはじめとする様々な取組が行われています。大空町では生ごみを津別町の施設で堆肥化し、廃プラスチックを資源化するとともに、燃やせるごみを焼却処分しています。一方、網走市では次期廃棄物処理施設の整備構想が定められて

いない中、生ごみや廃プラスチックを一般ごみとして破碎・埋立処分していますが、新たな取組として容器包装リサイクル法の対象となっていない紙類の一部を回収するとともに、飲食店等における「食べ残しを減らそう」推進事業などの取組を行い、ごみの排出抑制と資源化に努めています。

このような中、網走市の廃棄物最終処分場の残余容量が、あと5年程度と見込まれていることから、生ごみの堆肥化や廃プラスチックの資源化等の検討も含め、資源循環型社会を目指した次期廃棄物処理施設の整備構想の検討が喫緊の課題です。

大空町は、自治体単独の下水道処理施設を保有せず、住民の衛生環境の向上と、経済的で効率的な汚水処理を図るため、平成4年から女満別地区、平成7年から東藻琴地区の生活排水を網走終末処理場へ送水し共同処理を行っています。しかし、汚水の送水流域において大雨や停電などの災害が発生した場合、大空町からの汚水送水を中断する必要があることから、災害時における対応が課題です。

【防災の分野】

網走地区消防組合は、網走市、大空町の1市1町で構成され、圏域の消防・救急活動を担っています。近年、消防の常備化の進展や産業・就業構造の変化に伴い、全国的に消防団員が減少傾向にあります。現在、網走地区消防組合内の消防団は、網走、女満別、東藻琴の3消防団が組織されており、定数417人に対し、実数396人（H22）が所属し、全体では95%確保されていますが、地域によってバラつきがあり、特に農村部での団員確保に苦慮している状況です。

こうしたことから、住民の消防団への理解を深めるとともに、公務員をはじめ特殊法人等公務員に準ずる職員（農協職員や郵政職員）や女性消防団員の入団促進、消防団協力事業所の拡充、機能別消防団制度の検討等、団員確保のための様々な取組が必要です。

消防・救急活動における無線通信の役割は、出動隊への指揮命令や活動支援などに関する情報伝達、あるいは活動隊員間の情報共有に欠くことのできない消防インフラであり、常に良好な状態で維持することが求められています。

現在のアナログ方式の消防救急無線は、平成15年の電波法関係審査基準の改正により、平成28年にはデジタル方式へ移行することとされていますが、これらのシステム整備には多額の費用と期間を要することから、財源確保とともに各種災害に迅速に対応できる効果的な無線ネットワークシステムを調査研究することが求められています。

これまで圏域は、恵まれた自然環境と気象条件のもと、自然災害が少ない地域といわれてきていますが、近年は、ゲリラ豪雨といわれる短時間の集中豪雨や長時間にわたる大雨など、気象状況が変化してきており、さらには先の東日本大震災を踏まえ、将来にわたり安全な暮らしを守るためには、地域の条件や状況にふさわしい防災対策が必要とされています。

圏域はそれぞれ、職員の動員体制や対応、また避難所等を定め、災害時の備蓄も行っていますが、今後の災害対応を考えた場合、応援職員の派遣方法や避難所の相互活用などのほか、備蓄品についても相互に供給することができる体制づくりや、さらには圏域全体での備蓄品整備など、防災体制の連携に向けた取組の推進が必要です。

【福祉の分野】

近年、核家族化や女性の社会進出が進み共働き世帯の増加などにより、子育てを取り巻く家庭環境は大きく変化し、そのことも少子化の一因とされています。

こうした中、子育てに対する親の負担感の増大や、父親と子どもの触れ合う機会の創出等に対処する施設として、保育園や子育て支援センターの役割が重要です。

少子化が進行する中、全ての子どもたちが健やかに育ち、安心して子育てをしていくためには、地域社会全体で子育てを支えていくことがますます重要となっています。このことは、発達に心配のある子どもやその家族にとっても同様であり、障がいのあることによる不安や負担にならないよう支援が必要となるため、広域的な施設として、網走市こども発達支援センターの役割が重要です。

介護保険制度の定着に伴い、要介護認定者数の増加をはじめ、事業所や提供されるサービスの種類が増加する中、介護に携わるスタッフの職種、人員、資質を充実することが必要です。しかし、介護系の求人に対しての応募が少なく、介護従事者のさらなる処遇改善が必要です。また、実務経験の少ないスタッフも多いことから、定期的な研修機会の場を設け、スタッフの資質向上と連携強化を図ることが求められています。

【産業振興の分野】

圏域の人口減少に伴い生産年齢人口も減少し続ける中、新卒者だけではなく、高齢者、障がい者、季節労働者など、様々な就業ニーズに対応した雇用対策を

進め、労働者の雇用の場を確保していくことが必要です。そのため、地域や地域資源の特性を活かし、新たなビジネスや産業が生まれ定着するよう、事業者等に対する支援や新たな雇用の場を生み出していく取組が求められています。

内水面漁業が盛んに行われている網走湖は、上層の有酸素淡水層と下層の無酸素塩水層に分かれる2層構造の湖で、近年はこの境界が環境変化に伴い上昇傾向にあり、平成17年の結氷期には水深3mまで上昇し、3m以深に生息していたヤマトシジミが大量にへい死しました。さらに、平成18年10月には低気圧に伴う強風による青潮の発生や大雨による土砂の流入、水位の異常上昇などにより、湖内の生物に与えた影響は計り知れないものがあると推測されています。

このように、近年の環境変化や自然災害は網走湖の生態系に大きな影響をもたらしており、プランクトンの優占種などに変化が認められています。

こうしたことから、網走湖の有用資源であるワカサギ、シラウオ、シジミについての現存量及び再生産状況の把握に努めるとともに、水質環境の改善対策や増養殖技術の確立が必要です。

【地域公共交通の分野】

少子高齢化や人口減少が進行する中、自家用車に依存した生活が定着し、路線バスなどの公共交通機関の利用者の減少が、運行便数の減少や路線の廃止を誘発させ、利用者のさらなる減少につながっています。

今後の高齢化社会における交通弱者の増加により、地域公共交通の必要性・重要性はますます高まることから、圏域住民の移動手段としての地域公共交通の持続的な維持・確保が求められています。

【地域内外の住民との交流・移住促進の分野】

人口減少が進行する中、圏域のにぎわいを創出し、地域経済の活性化を図る観点から、人口定住のための取組とともに、移住や交流人口の拡大に向けた取組が重要です。今後は、長期滞在・二地域居住をはじめとする様々なニーズに対応するため、広域での受入やPR活動などの取組が求められています。

【人材育成の分野】

地方分権型社会が進展する中、自立したまちづくりを進めていくためには、住民や企業、団体等と行政が一体となって、協働によるまちづくりに取り組んでいくことが重要です。そのため、地域活動を導くリーダーやまちづくりの担い手となる人材の育成を図ることが求められています。

【職員等の交流の分野】

近年、高度情報化の進展や社会経済情勢が大きく変化する中、高度化・多様化する住民ニーズに的確に対応し、継続的に高い成果を上げることのできる強い組織が求められています。そのためには、職員一人ひとりが、直面する様々な課題に即応できる高度な知識や政策形成能力を備えていくことが必要です。

今後、さらに変化する時代にあっては、視野の広い柔軟な発想を持った職員が求められるところであり、圏域の職員間の交流を促進し、相互の地域特性についての情報を共有し、より広域的な視点を持った職員の養成を図るため、圏域の職員研修の連携を図ることが必要です。

また、単独の自治体では少人数の対象職員しかいないような限られた専門分野の研修についても、スケールメリットを活かした合同開催が望まれます。

第3章 圏域の将来像

【圏域の将来像】

我が国の総人口は、今後急速に減少することが見込まれており、地方圏のみならず、三大都市圏の人口も減少する時代の到来にあって、地方圏の将来は極めて厳しい状況にあります。

さらに、少子化・高齢化が急速に進行し、高齢者数が増加して、生産年齢人口が減少していくことが予想されています。

本圏域においてもその傾向は同様であり、今後とも更なる人口減少が予想されることから、圏域で暮らし続けるための生活機能の確保や、定住人口減少の抑制に向けた取組が課題となっています。

このような中、本圏域は、オホーツク海や湖から豊富な水産物が水揚げされ、さらに、肥沃な大地からは豊穰な農作物が収穫されるなど、豊かな食に恵まれた地域であるとともに、本圏域があるオホーツク管内は、北海道の漁業生産額の18%、農業生産額の16%を占め、食糧自給率200%（カロリーベース）を誇る日本の食糧基地北海道の中でも重要な位置を占めています。

網走国立公園に位置する本圏域は、ラムサール条約登録湿地の濤沸湖をはじめとする大小5つの湖や河川、藻琴山などを擁し、阿寒国立公園や世界自然遺産の知床国立公園に隣接し、冬季には流氷が接岸するなど、豊かな自然環境に恵まれた地域であります。

また、本圏域には、東北北海道の玄関口である女満別空港があり、観光が基幹

産業の一つであることから、オホーツク流氷館や博物館網走監獄、東藻琴芝桜公園などの多くの観光施設があるほか、オホーツク文化の代表的な遺跡として世界的にも有名なモヨロ貝塚（国指定史跡）や道立北方民族博物館など、学術的にも重要な文化施設があります。

さらに本圏域では、空路の利便性が高いことや、体育・文化施設や医療機関が充実していることから、夏の冷涼な気候を生かして、スポーツや文化活動の合宿が盛んに行われており、ラグビー・トップリーグ所属チームをはじめ、実業団の陸上チーム、大学のバスケットボールチームや文化サークル、さらには音楽家など、幅広い分野にわたる社会人や大学生のほか、チームを応援するサポーターも含め、数多くの人々がこの地域を訪れています。

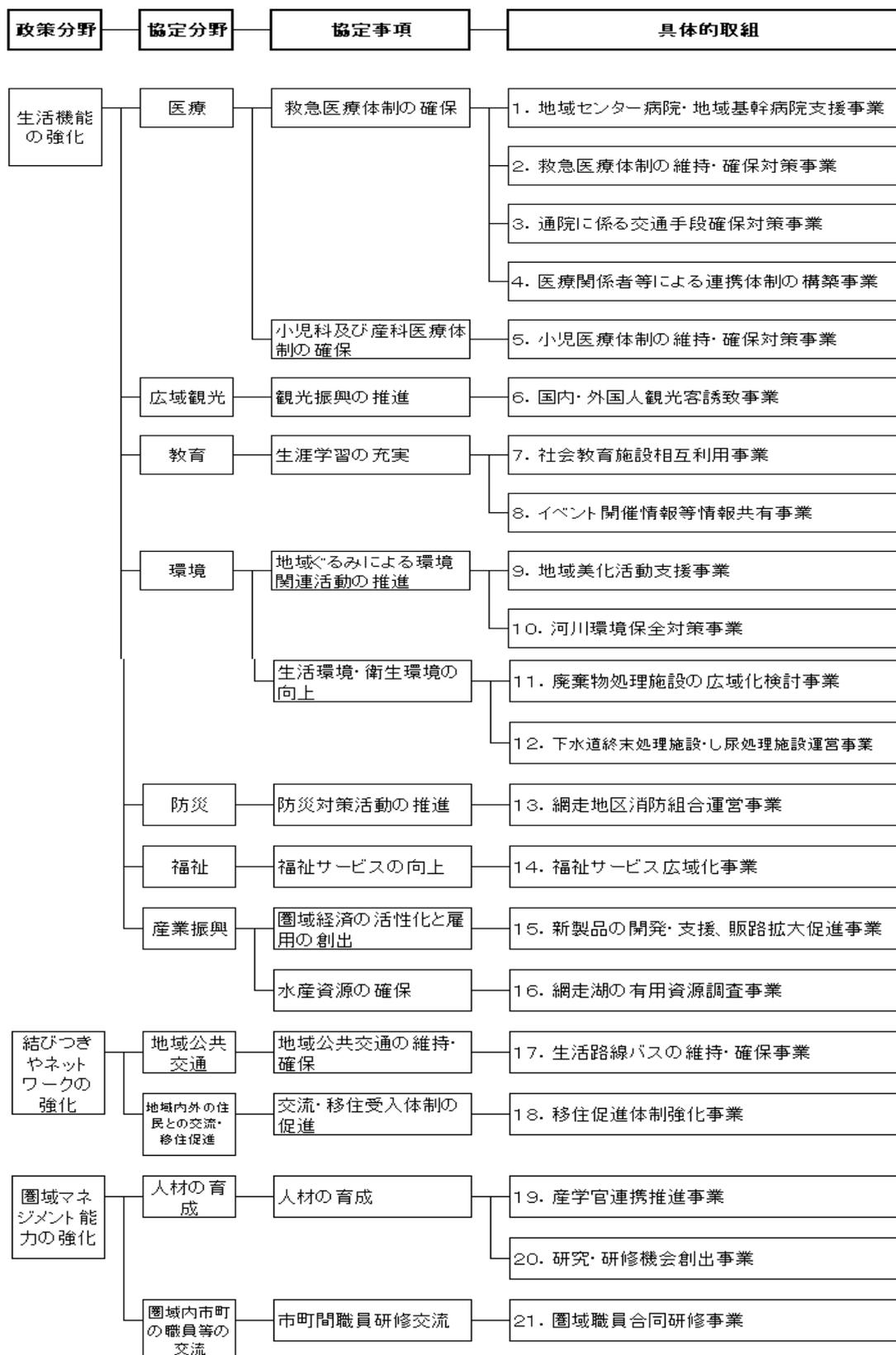
こうした状況を踏まえ、我々は先人から受け継いだ豊かな自然環境や歴史文化資産を漫然と享受するだけでなく、そのことを再認識するとともに、圏域固有の財産として大いに活用し、次代を担う子どもたちに誇りを持って引き継ぐことができるよう、圏域住民がゆとりと潤いを実感し、安心して子育てができる環境を整え、子どもや若者が夢と誇りを持ってこの地域に住み続けたいと思えるような、魅力と活気に満ちた圏域を構築しようとするものです。

そのため、本圏域を構成する両市町は、圏域住民が日常生活圏を共有していることを踏まえ、お互いの独自性を尊重するとともに、相互に役割を分担し連携を図りながら、定住に必要な都市機能や圏域住民が真に必要な生活機能の確保、充実を図るとともに地域活性化に努め、安心して暮らし続けられる圏域を目指します。

第4章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

定住自立圏形成協定を踏まえ、生活機能、結びつきやネットワーク及び圏域マネジメント能力の強化に係る分野において以下の具体的取組を推進し、将来像の実現を目指します。

1. 取組の体系



I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

ア 救急医療体制の確保

〔形成協定の取組内容〕

圏域住民に切れ目ない医療サービスを提供するため、日常生活に密着した初期医療機関と中核的病院の適切な役割分担と連携を推進し、救急医療体制の確保に取り組む。

事業名	1 地域センター病院・地域基幹病院支援事業					関係市町
事業概要	地域センター病院である網走厚生病院に対し、病院建設資金及び感染症対策への支援を行う。 また、地域基幹病院である女満別中央病院の医療機器・施設整備、医師・看護師確保のための支援を行う。					網走市 大空町
効果	医療機関の経営負担軽減により、圏域住民に切れ目のない医療サービスの提供が図られます。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	125,573	124,523	123,473	122,423	121,373	617,365
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	網走市が網走厚生病院への支援を行う。 大空町が女満別中央病院への支援を行う。					

事業名	2 救急医療体制の維持・確保対策事業					関係市町
事業概要	網走医師会による救急医療体制の運営を支援するとともに、救急医療知識の普及啓発を行う。 また、遠隔地における一次医療の確保のため、東藻琴診療所の維持管理を行う。					網走市 大空町
効果	救急医療体制が確保・維持されることで、圏域住民に対し、365日、24時間安定した医療の提供が図られるとともに、東藻琴地区の住民に対しては、地元での診療が可能となり、患者負担の軽減が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	35,368	35,368	35,071	35,071	35,071	175,949
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町は救急医療体制の運営に必要な経費の一部を負担する。 大空町は東藻琴診療所の維持・管理に必要な経費を負担する。					

事業名	3 通院に係る交通手段確保対策事業					関係市町
事業概要	網走東部・西部の郊外地区の患者に対し、通院のための送迎を行う。 また、東藻琴地区各集落の患者に対し、東藻琴診療所までの輸送を行う。					網走市 大空町
効果	医療機関から離れている患者に対する受診機会の確保と、患者負担の軽減が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	4,212	4,212	4,212	4,212	4,212	21,060
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	網走市が網走東部・西部の郊外地区の患者送迎を行う。 大空町が東藻琴地区集落の患者輸送を行う。					

事業名	4 医療関係者等による連携体制の構築事業					関係市町
事業概要	網走地域自治体病院等広域化・連携構想検討会議に参加する。					網走市 大空町
効果	地域医療の課題解決に向けて協議することにより、情報の共有、対応策などが図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	0	0	0	0	0	0
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町は、病院間連携・協力体制の構築を支援する。					

イ. 小児科及び産科医療体制の確保

〔形成協定の取組内容〕
 圏域の住民が安心して子どもを産む環境を維持するため、圏域内の小児科及び産科医療体制の維持・確保に取り組む。

事業名	5 小児医療体制の維持・確保対策事業					関係市町
事業概要	地域センター病院である網走厚生病院に対し、小児医療の安定的な確保を図るための支援を行う。					網走市 大空町
効果	圏域で子どもたちを安心して産める環境の維持と、将来を担う子どもたちが健康に暮らせる環境の整備が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	20,890	20,890	20,890	20,890	20,890	104,450
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	網走市が網走厚生病院への支援を行う。					

(2) 広域観光

ア. 観光振興の推進

〔形成協定の取組内容〕

観光振興による圏域の活性化を図るため、国内及び海外からの観光客の誘致に取り組む。

事業名	6 国内・外国人観光客誘致事業					関係市町
事業概要	外国人観光客の誘客や女満別空港を利用する海外チャーター便を誘致するためのプロモーション活動を行う。 また、国内外の観光客誘致に向けた観光PR活動等を行うとともに、女満別空港利用者向けの観光案内業務などを行う。					網走市 大空町
効果	広域的な観光PR等を行うことにより、効果的な情報発信や受け入れ体制の充実が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	13,067	13,067	13,067	13,067	13,067	65,335
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

(3) 教育

ア. 生涯学習の充実

〔形成協定の取組内容〕
 圏域内における、生涯学習の機会拡大、文化・スポーツの振興等を図るため、教育施設の相互利用、文化・スポーツ等に関するイベント情報の共有などに取り組む。

事業名	7 社会教育施設相互利用事業					関係市町
事業概要	図書館や体育施設の相互利用を促進するとともに、図書館利用者の利便性向上のため、インターネットによる蔵書検索システムの運用を行う。					網走市 大空町
効果	図書館や体育施設の利用拡大と圏域住民の利便性の向上が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	142,675	127,521	126,115	125,827	130,709	652,847
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

事業名	8 イベント開催情報等情報共有事業					関係市町
事業概要	文化・スポーツ事業を行うとともに、圏域で開催される講演やイベント情報を、ホームページ等を通じて圏域住民へ周知する。					網走市 大空町
効果	圏域住民が文化活動やスポーツ活動に参加する機会が拡大し、人の交流とまちの活性化が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	20,422	20,422	23,630	20,422	20,422	105,318
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

(4) 環境

ア. 地域ぐるみによる環境関連活動の推進

〔形成協定の取組内容〕
 圏域の自然環境を守るため、各種団体、ボランティア団体などで行う環境保護活動などに取り組む。

事業名	9 地域美化活動支援事業					関係市町
事業概要	環境保全のためのボランティア活動や、公共施設の清掃活動等に対し、ゴミ袋を無償配布するなどの支援を行う。					網走市 大空町
効果	両市町がそれぞれ活動を支援することにより、山から川、海へとつながる圏域全体における自然環境の保全と住民意識の啓発が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	174	599	174	599	174	1,720
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

事業名	10 河川環境保全対策事業					関係市町
事業概要	藻琴川環境保全対策連絡協議会、網走湖環境保全対策推進協議会に構成員として参加し、藻琴川及び網走川の河川環境と流域環境の保全のために必要な協議活動を推進する。 藻琴川を美しくする会が主催する各種活動に参加し、環境保全の取組を行う。					網走市 大空町
効果	藻琴川及び網走川の河川環境と流域環境の保全が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	0	0	0	0	0	0
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町がそれぞれ両協議会に参加し推進する。 大空町は藻琴川環境保全活動を実施する。					

イ. 生活環境・衛生環境の向上

<p>〔形成協定の取組内容〕</p> <p>一般廃棄物処理について、広域的な連携構想を含めた基本計画の策定について検討するとともに、生活排水やし尿汚泥の処理に係る施設の維持整備に取り組む。</p>
--

事業名	11 廃棄物処理施設の広域化検討事業					関係市町
事業概要	<p>次期ごみ処理施設整備に向けたごみ処理基本計画に基づき、網走市ごみ処理施設整備構想の策定、広域での循環型社会形成推進地域計画を検討する。</p> <p>また、大空町一般廃棄物処理基本計画を平成 23 年度に策定する。</p>					網走市 大空町
効果	廃棄物処理施設を広域化することにより、経済性の向上と効率的な維持管理が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	3,263	428	428	428	428	4,975
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	<p>網走市が網走市ごみ処理施設整備構想策定及び循環型社会形成推進地域計画検討に要する経費を負担する。</p> <p>大空町が大空町一般廃棄物処理基本計画策定の経費を負担する。</p>					

事業名	12 下水道終末処理施設・し尿処理施設運営事業					関係市町
事業概要	圏域の生活排水やし尿、汚泥の共同処理を行う。					網走市 大空町
効果	共同処理を行うことにより、経済性の向上と効率的な維持管理が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	317,630	312,481	312,481	312,481	312,481	1,567,554
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

(5) 防災

ア. 防災対策活動の推進

〔形成協定の取組内容〕
圏域住民の安全を確保するため、消防、救急体制の充実を図るとともに防災意識の啓発、研修等に取り組む。

事業名	13 網走地区消防組合運営事業					関係市町
事業概要	住民の防災意識の向上と災害発生時の住民、関係機関の綿密な連携が図られるよう、防災訓練を実施するほか、災害用備蓄品の整備や災害発生時の体制づくりを行う。 また、圏域の消防事務を共同処理するため、網走地区消防組合を組織、運営する。					網走市 大空町
効果	共同処理を行うことにより、経済性の向上と効率的な維持管理が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	1,040,562	1,040,562	1,040,562	1,040,562	1,040,562	5,202,810
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

〔形成協定の取組内容〕
 児童・障がい者・高齢者に対する各種福祉サービスの充実を図るため、福祉サービスの相互利用や福祉に関するネットワーク構築、福祉サービス従事者の育成などについて取り組む。

事業名	14 福祉サービス広域化事業					関係市町
事業概要	<p>仕事と育児の両立を支援するため、保育所の相互利用を促進する。子育て家庭への育児支援を行うため、網走地域子育て支援センターと女満別児童センターの相互利用を促進する。</p> <p>また、心身に障がい又は発達に心配のある児童と家族への必要な支援を行うため、網走市こども発達支援センターの広域的な活用を図る。</p> <p>介護・高齢者福祉に関係するスタッフの資質向上、情報交換や地域住民のボランティア養成を図るため、各種研修や交流機会の場を設ける。</p>					網走市 大空町
効果	子育て家庭の負担軽減と利便性の向上や、障がい者福祉、高齢者福祉の増進が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	263,594	244,816	242,800	243,316	246,627	1,241,153
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	<p>保育所の設置・運営は、両市町がそれぞれ負担する。</p> <p>網走地域子育て支援センターと網走市こども発達支援センターの設置・運営は、網走市が負担する。</p> <p>女満別児童センター・児童クラブの設置・運営は、大空町が負担する。</p> <p>介護・高齢者福祉の研修、交流事業は、両市町がそれぞれ負担する。</p>					

(7) 産業振興

ア. 圏域経済の活性化と雇用の創出

〔形成協定の取組内容〕
 圏域経済の活性化と雇用の創出を図るため、圏域の資源を活用した新商品の創出や販路拡大の促進及び産学官連携等による新たな技術開発に取り組む。

事業名	15 新製品の開発・支援、販路拡大促進事業					関係市町
事業概要	地域特産品の創出と産業の活性化を図るため、中小企業者等が行う新製品や新技術開発等の取組や商品化に向けた取組への支援及び販路開拓・拡大に関する事業を実施する。 地域の特性を生かした新しい地場産業を振興する団体等を支援する。					網走市 大空町
効果	地域特産品や新しい地場産業が創出されることにより、地域産業の活性化が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	16,803	16,803	16,803	16,803	16,803	84,015
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

イ. 水産資源の確保

〔形成協定の取組内容〕

網走湖の有用資源を有効的に利用するため、有用資源及び水質環境を総合的に調査するとともに環境改善対策の検討などに取り組む。

事業名	16 網走湖の有用資源調査事業					関係市町
事業概要	網走湖の有用資源であるワカサギ、シラウオ、シジミについて現存量及び再生産状況の把握並びに水質環境について総合的に調査を行うとともに、網走湖に関する環境対策について関係省庁などに要望を行う。					網走市 大空町
効果	網走湖の環境対策を行うことにより、有用資源の保護と水産業の振興が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	4,354	2,154	2,154	2,154	2,154	12,970
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(1) 地域公共交通

ア 地域公共交通の維持・確保

〔形成協定の取組内容〕

圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について継続的に調査、検証するとともに、バス路線等の維持・確保対策に取り組む。

事業名	17 生活路線バスの維持・確保事業					関係市町
事業概要	生活路線バスの維持・確保を図るため、路線バス事業者に対する支援を行う。 地域公共交通総合連携計画に基づき、実証実験等を行いながら今後の地域公共交通のあり方を検討する。					網走市 大空町
効果	病院や商業施設などの都市機能を広域的に利用することができ、生活に必要な交通手段の維持・確保が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	33,619	28,619	28,619	28,619	28,619	148,095
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

(2) 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 交流・移住受入体制の促進

〔形成協定の取組内容〕
 地域内への移住・長期滞在の促進を図るため、暮らしや滞在に関する情報提供や受入体制などの充実に取り組む。

事業名	18 移住促進体制強化事業					関係市町
事業概要	移住、長期滞在や二地域居住の促進を図るため、大都市圏において移住プロモーション活動を行うとともに、賃貸物件や空家情報の提供を行うなど、交流・定住人口の増加により地域の活性化を図る。					網走市 大空町
効果	広域的に取り組むことにより、受入体制や情報発信が充実し、交流・定住人口の増加に伴う経済効果により地域活性化が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	3,949	3,949	3,949	3,949	3,949	19,745
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	両市町がそれぞれ負担する。					

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

(1) 人材の育成

ア 人材の育成

〔形成協定の取組内容〕
 地域力の向上を図るため、各分野の人材育成や研修機会の創出などに取り組む。

事業名	19 産学官連携推進事業					関係市町
事業概要	東京農業大学で実施されている「オホーツクものづくり・ビジネス地域創成塾」などに参加し、産学官で連携しながら各種の研究を行い地域の活性化を図る。					網走市 大空町
効果	ビジネスやマーケティング能力を兼ね備えた人材を育成することにより、地域資源を活用した新商品開発や起業化・事業化が促進され、地域活性化が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	0	0	0	0	0	0
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	網走市が人材育成事業運営委員として参加・協力する。					

事業名	20 研究・研修機会創出事業					関係市町
事業概要	経営革新や技術革新を成し遂げた事例、持続的に独自性を追求している会社経営者などを講師として招へいし、少数精鋭により、実践的なノウハウを学べるセミナーを開催する。					網走市 大空町
効果	建築関連事業者の経営改善、内部強化、新分野・周辺分野進出に関する研究・研修機会の創出が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	442	—	—	—	—	442
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	網走市がセミナー開催に要する経費を負担する。					

(2) 圏域内市町の職員等の交流

ア 市町間職員研修交流

〔形成協定の取組内容〕
 職員の資質及び政策課題への対応力を高めるため、合同研修会の開催等により職員の能力向上や職員間の交流に取り組む。

事業名	21 圏域職員合同研修事業					関係市町
事業概要	職員の能力と資質の向上を図るため、両市町が実施する各種職員研修に両市町職員が参加する機会を設ける。 また、専門職員としての資質向上を図るため、各分野の担当者研修会を合同開催する。					網走市 大空町
効果	合同で研修を行うことにより、圏域の職員間交流が促進され、効果的に職員の能力と資質の向上が図られる。					
事業費 (千円)	H23	H24	H25	H26	H27	合計
	4,711	4,686	4,711	4,686	4,711	23,505
補助事業等の名称等						
役割分担の考え方	研修会を開催する市町が開催に要する経費を負担する。 合同開催に要する経費は、両市町がそれぞれ負担する。					

第5章 共生ビジョン事業一覧

I 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療

ア. 救急医療体制の確保

市町名	協定	事業名	事業概要	事業費(千円)				
				H23	H24	H25	H26	H27
1 地域センター病院・地域基幹病院支援事業				125,573	124,523	123,473	122,423	121,373
網走市	協定書別表1(1)ア	網走厚生病院整備支援事業(ア)	網走厚生病院が借り入れする建設資金のうち、網走市の助成額を平成18年から平成37年までの20年の分割で財政支援を行う(H16年6月債務負担分)	85,750	84,700	83,650	82,600	81,550
網走市	協定書別表1(1)ア	網走厚生病院小児医療等運営補助金事業(ア)	感染症対策のため、地域センター病院である網走厚生病院の結核病床(10床)に対し助成する	4,110	4,110	4,110	4,110	4,110
大空町	協定書別表1(1)ア	女満別中央病院医療環境等充実事業(ア)	医療機器・施設整備、医師・看護師確保のため、地域基幹病院である女満別中央病院に対し助成する	35,713	35,713	35,713	35,713	35,713
2 救急医療体制の維持・確保対策事業				35,368	35,368	35,071	35,071	35,071
網走市	協定書別表1(1)ア	救急医療体制づくり事業(イ)	休日・夜間における当番医制の運用及び市民に対する救急医療知識の普及啓発を実施する	14,858	14,858	14,561	14,561	14,561
大空町	協定書別表1(1)ア	女満別中央病院医療環境等充実事業(ア)	救急医療対策のため女満別中央病院に対し助成する	5,829	5,829	5,829	5,829	5,829
大空町	協定書別表1(1)ア	東藻琴診療所管理運営費(イ)	東藻琴地区にある診療所の管理運営を女満別中央病院に指定管理委託する	12,539	12,539	12,539	12,539	12,539
大空町	協定書別表1(1)ア	網走地区救急医療対策事業(エ)	休日・夜間における当番医制の運用及び町民に対する救急医療知識の普及啓発を実施する	2,142	2,142	2,142	2,142	2,142

ア. 救急医療体制の確保				H23	H24	H25	H26	H27
3 通院に係る交通手段確保対策事業				4,212	4,212	4,212	4,212	4,212
網走市	協定書 別表1 (1)ア	患者送迎車運行事業(ウ)	廃止された2診療所地域の患者を市内の医療機関に送迎する(東部・西部5路線1地区週1ペース1日1往復)	3,501	3,501	3,501	3,501	3,501
大空町	協定書 別表1 (1)ア	患者輸送車運行事業(イ)	東藻琴地区各集落から東藻琴診療所までの患者の輸送を行う	711	711	711	711	711
4 医療関係者等による連携体制の構築事業				0	0	0	0	0
網走市	協定書 別表1 (1)ア	網走地域自治体病院等広域 化・連携構想検討会議に参加 (エ)	医療機関、網走市、大空町、小清水町、清里町、斜里町などで形成	0	0	0	0	0
大空町	協定書 別表1 (1)ア	網走地域自治体病院等広域 化・連携構想検討会議に参加 (エ)	医療機関、網走市、大空町、小清水町、清里町、斜里町などで形成	0	0	0	0	0
イ. 小児科及び産科医療体制の確保				H23	H24	H25	H26	H27
5 小児医療体制の維持・確保対策事業				20,890	20,890	20,890	20,890	20,890
網走市	協定書 別表1 (1)イ	網走厚生病院小児医療等運営 補助金事業(ア)	小児医療の安定的な確保を図るため、地域センター病院である網走厚生病院の小児医療(24床)に対し助成する	20,890	20,890	20,890	20,890	20,890

(2) 広域観光

ア. 観光振興の推進

				H23	H24	H25	H26	H27
6 国内・外国人観光客誘致事業				13,067	13,067	13,067	13,067	13,067
網走市	協定書 別表1 (2)ア	外国人観光客誘致対策プロ モーション事業(ア)	外国人観光客の誘客や女満別空港を利用する海外チャーター便を誘致するため、東アジア地域で網走及び東オホーツク観光の魅力を宣伝するプロモーション活動を行う	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410
網走市	協定書 別表1 (2)ア	海外旅行エージェント等招聘事 業(ア)	「ひがし北海道国際観光ルート整備協議会」において、東北道に外国人観光客の誘客を図るため、国のビジットキャンペーンと連携して海外旅行エージェントなどを招へいする	500	500	500	500	500
網走市	協定書 別表1 (2)ア	外国人観光客誘致促進諸補助 負担金(イ)	女満別空港国際チャーター便誘致協議会で地域一体となったチャーター便誘致を行う	50	50	50	50	50
大空町	協定書 別表1 (2)ア	観光振興一般事務費(ア)	観光案内業務委託等観光振興に係る総体事業を実施	8,991	8,991	8,991	8,991	8,991
大空町	協定書 別表1 (2)ア	空港対策費(イ)	女満別空港の利便性向上、路線維持・拡大に関する要望、女満別空港整備・利用促進協議会や女満別空港国際チャーター便誘致協議会に関する事、空の日イベントに関する事など	2,116	2,116	2,116	2,116	2,116

(3) 教育

ア. 生涯学習の充実

				H23	H24	H25	H26	H27
7 社会教育施設相互利用事業				142,675	127,521	126,115	125,827	130,709
網走市	協定書別表1(3)ア	図書館資料整備事業(ア)	図書資料等の収集整備	10,587	10,587	10,587	10,587	10,587
網走市	協定書別表1(3)ア	図書館システム整備事業	インターネット等による図書館蔵書検索システムの運用のための機器リース料	2,457	819	-	-	-
網走市	協定書別表1(3)ア	図書館管理運営事業(事業内委託料のみ)	インターネット等による図書館蔵書検索システムの運用のための機器種所管理委託料	964	964	964	964	964
網走市	協定書別表1(3)ア	体育施設管理運営事業(ウ)	住民の心身の健全な発達及びスポーツの振興を図る	62,984	63,113	62,526	62,238	67,120
大空町	協定書別表1(3)ア	大空町図書館管理運営事業(ア)	図書館の貸出とレファレンス、読書相談などの図書館サービスを推進し、文化教養活動の支援と促進を図る	45,989	45,989	45,989	45,989	45,989
大空町	協定書別表1(3)ア	移動図書館車運行事業(ウ)	地域格差のない図書館サービスの充実と町内の各学校との連携を推進するため移動図書館車を購入する	13,645	-	-	-	-
大空町	協定書別表1(3)ア	体育施設一般管理費(ウ)	住民の心身の健全な発達及びスポーツの振興を図るため、体育施設の管理を行う	6,049	6,049	6,049	6,049	6,049

ア. 生涯学習の充実				H23	H24	H25	H26	H27
8 イベント開催情報等情報共有事業				20,422	20,422	23,630	20,422	20,422
網走市	協定書 別表1 (3)ア	オホーツク・文化交流センター 芸術文化事業(イ)	洋楽、邦楽、古典芸能、その他のジャンルから広く市民の企画による舞台芸術鑑賞事業を募り、3～4公演を実施する	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407
網走市	協定書 別表1 (3)ア	社会教育振興補助事業(イ)	あばしりファミリー劇場・市民映画鑑賞事業、芸術文化活動事業など、市民が主体で企画運営し、子どもから大人までに幅広く提供する事業に対し補助する	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350
網走市	協定書 別表1 (3)ア	成人講座開設事業(イ)	てづくりすと講座、まなびすと講座、親と子のふれあい教室、幼児をもつ親の子育て講演会、家庭教育学級、家庭教育フォーラムの実施	8,812	8,812	12,020	8,812	8,812
網走市	協定書 別表1 (3)ア	市民大学講座開設事業補助金 (イ)	人文、社会、自然、経済等の各分野から専門家を講師に5～7回講座を開催する	900	900	900	900	900
大空町	協定書 別表1 (3)ア	文化祭開催事業(イ)	文化団体協議会・教育委員会が共催で実施している町民文化祭、(作品展、芸能祭)を積極的に支援し、町民の文化活動の推進を図る	479	479	479	479	479
大空町	協定書 別表1 (3)ア	スポーツ活動振興事業(イ)	ソフトボール大会、ミニバレーボール大会、スポーツ縁日等各種町民大会の実施	474	474	474	474	474

(4) 環境

ア. 地域ぐるみによる環境関連活動の推進

				H23	H24	H25	H26	H27
9 地域美化活動支援事業				174	599	174	599	174
網走市	協定書別表1(4)ア	地域美化協定事業(ア)	市と協定を締結した市民団体が、市内の公共施設をボランティア活動で清掃等を実施した団体に対し、市が定める支援を実施するとともにボランティアで清掃する団体にボランティア袋を配布する	98	523	98	523	98
大空町	協定書別表1(4)ア	ボランティア袋の配布(ア)	環境保全のためボランティア活動で清掃等を実施する団体等に対して、無償でボランティア袋(ごみ袋)を配布する	76	76	76	76	76
10 河川環境保全対策事業				0	0	0	0	0
網走市	協定書別表1(4)ア	藻琴川環境保全対策連絡協議会に参加(イ)	藻琴川の河川環境と流域環境の保全のために必要な協議を行う団体(網走開発建設部、オホーツク総合振興局、網走市、大空町、網走漁業協同組合、オホーツク網走農業協同組合、女満別町農業協同組合)協議会では、環境美化活動、土砂浚渫、現地調査、啓発活動を行う	0	0	0	0	0
網走市	協定書別表1(4)ア	網走湖環境保全対策推進協議会に参加(イ)	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、道立総合研究機構水産研究本部、網走市、大空町、美幌町、津別町で構成する協議会に参加し、網走湖の環境を保全するための総合的な施策の推進を図る	0	0	0	0	0
大空町	協定書別表1(4)ア	藻琴川環境保全対策連絡協議会に参加(イ)	藻琴川の河川環境と流域環境の保全のために必要な協議を行う団体(網走開発建設部、オホーツク総合振興局、網走市、大空町、網走漁業協同組合、オホーツク網走農業協同組合、女満別町農業協同組合)協議会では、環境美化活動、土砂浚渫、現地調査、啓発活動を行う	0	0	0	0	0
大空町	協定書別表1(4)ア	網走湖環境保全対策推進協議会に参加(イ)	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、道立総合研究機構水産研究本部、網走市、大空町、美幌町、津別町で構成する協議会に参加し、網走湖の環境を保全するための総合的な施策の推進を図る	0	0	0	0	0
大空町	協定書別表1(4)ア	藻琴川環境保全活動(イ)	藻琴川を美しくする会の会員(ボランティア)が主催で河川の清掃活動をはじめ、簡易水質調査、水生昆虫調査など、環境保全の取組を行う	0	0	0	0	0

イ. 生活環境・衛生環境の向上				H23	H24	H25	H26	H27
11 廃棄物処理施設の広域化検討事業				3,263	428	428	428	428
網走市	協定書別表1(4)イ	廃棄物処理施設等検討事業(ア)	次期ごみ処理施設整備に向けて、ごみ処理基本計画、ごみ処理施設整備構想、広域での循環型社会形成推進地域計画を検討する	428	428	428	428	428
大空町	協定書別表1(4)イ	一般廃棄物処理基本計画策定事業(ア)	一般廃棄物処理基本計画の策定(H23)	2,835	-	-	-	-
12 下水道終末処理施設・し尿処理施設運営事業				317,630	312,481	312,481	312,481	312,481
網走市	協定書別表1(4)イ	下水道事業(イ)	市内及び大空町の生活排水を適切に処理するため、下水道施設の維持・管理を行う	196,253	191,104	191,104	191,104	191,104
網走市	協定書別表1(4)イ	し尿処理事業(ウ)	市内及び大空町で収集されたし尿、浄化槽汚泥を処理し下水道に放流する	41,480	41,480	41,480	41,480	41,480
大空町	協定書別表1(4)イ	下水道事業(イ)	生活排水処理を行っている網走市下水道施設の建設費・管理費に関する負担金	53,311	53,311	53,311	53,311	53,311
大空町	協定書別表1(4)イ	網走し尿処理施設負担金(ウ)	汲取りし尿及び浄化槽汚泥処理を行っている網走市二見ヶ岡クリーンセンターの経費に関する負担金	26,586	26,586	26,586	26,586	26,586

(5) 防災

ア. 防災対策活動の推進

				H23	H24	H25	H26	H27
13 網走地区消防組合運営事業				1,040,562	1,040,562	1,040,562	1,040,562	1,040,562
網走市	協定書 別表1 (5)ア	防災諸費(ア)	市民の防災意識の向上や、災害発生時に住民を含めた関係機関の綿密な連携が図れるよう、関係機関と住民が参加した防災訓練を実施するほか、災害用備蓄品の整備や災害発生時の体制づくりを行う	2,002	2,002	2,002	2,002	2,002
網走市	協定書 別表1 (5)ア	網走地区消防組合負担金【共通経費】(イ)	一部事務組合構成市町と経費負担率に基づき網走地区消防組合消防本部に掛かる経費を負担する	110,708	110,708	110,708	110,708	110,708
網走市	協定書 別表1 (5)ア	網走地区消防組合負担金【単独経費】(イ)	網走消防署及び網走消防団に掛かる経費を負担する	564,398	564,398	564,398	564,398	564,398
大空町	協定書 別表1 (5)ア	災害対策事務費(ア)	防災会議の運営、避難所等周知、防災訓練の実施、防災資機材及び施設管理	936	936	936	936	936
大空町	協定書 別表1 (5)ア	網走地区消防組合負担金【共通経費】(イ)	一部事務組合構成市町と経費負担率に基づき網走地区消防組合消防本部に掛かる経費を負担する	20,615	20,615	20,615	20,615	20,615
大空町	協定書 別表1 (5)ア	網走地区消防組合負担金【単独経費】(イ)	大空消防署及び女満別消防団・東藻琴消防団に掛かる経費を負担する	341,903	341,903	341,903	341,903	341,903

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

				H23	H24	H25	H26	H27
14 福祉サービス広域化事業				263,594	244,816	242,800	243,316	246,627
網走市	協定書別表1(6)ア	介護特別会計(ア)	・網走ケアマネジャー連絡協議会委託事業(研修会開催) ・ボランティア研修会	450	450	450	450	450
網走市	協定書別表1(6)ア	認知症サポーター養成事業	・認知症サポーター養成講座	120	120	120	120	120
網走市	協定書別表1(6)ア	保育所管理運営事業(イ)	保護者の仕事や病気などで家庭において児童の保育が充分にできない場合に、市立保育園において保護者に代わって児童を保育する(広域入所分を含む)	159,300	135,306	134,872	135,306	138,699
網走市	協定書別表1(6)ア	地域子育て支援センター運営事業(ウ)	育児相談、情報提供、親子遊びの広場開設、子育てサークル支援、保育所の開放など、各種支援事業を実施	5,121	16,274	14,774	14,774	14,774
網走市	協定書別表1(6)ア	こども発達支援センター管理運営事業(ウ)	こども発達支援センターの維持・管理を行い、心身に障がい又は、発達に心配のある児童の健全な育成を図る	27,288	21,351	21,269	21,351	21,269
大空町	協定書別表1(6)ア	保育所広域入所事業(イ)	多様な保育要望に応えるため、町外の保育所に入所させる場合の支援を行う	1,037	1,037	1,037	1,037	1,037
大空町	協定書別表1(6)ア	豊住保育園管理運営費(イ)	豊住保育園の管理運営	30,712	30,712	30,712	30,712	30,712
大空町	協定書別表1(6)ア	東藻琴保育園管理運営費(イ)	東藻琴保育園の管理運営	14,251	14,251	14,251	14,251	14,251
大空町	協定書別表1(6)ア	託児通所助成事業	町内・町外の託児所に通所する場合の利用料の一部を助成する	870	870	870	870	870
大空町	協定書別表1(6)ア	女満別児童センター管理運営事業・児童クラブ管理運営事業	児童に健全な遊び場を提供して、その健康を増進し、情操を豊かにすること並びに、子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援などを行う	24,445	24,445	24,445	24,445	24,445

(7) 産業振興

ア. 圏域経済の活性化と雇用の創出

				H23	H24	H25	H26	H27
15 新製品の開発・支援、販路拡大促進事業				16,803	16,803	16,803	16,803	16,803
網走市	協定書 別表1 (7)ア	新製品創出支援事業補助金 (ア)	中小企業者等が行う新製品や新技術開発等の取組や商品化に向けた取組に係る費用の2分の1以内を補助する	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
網走市	協定書 別表1 (7)ア	新製品等プロモーション支援事業(ア)	市で購入した全道及び管内放送のテレビCM枠を利用して、市の新製品創出支援事業、事業化等スタートアップ支援事業の支援を受け開発した新商品の販路拡大を行う(ただし、CM映像の制作に係る費用は中小企業等が負担する)	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
網走市	協定書 別表1 (7)ア	ものづくりサポート事業(ア)	新製品等に係る問題点などをフォローし、その商品力・市場性を高め、新しい特産品等の創出を図るための補助、専門機関・市民サポーターのモニタリング及びセミナーの開催を行う	1,435	1,435	1,435	1,435	1,435
網走市	協定書 別表1 (7)ア	地場産品市場開拓推進事業 (イ)	市内で製造された商品の販路を拡大させるため、大都市圏の友好都市等のイベント参加及び取引商談会等出展により商品PRや販路拡大を図る	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
大空町	協定書 別表1 (7)ア	元気づくり応援事業補助金 (ア)	自主的、主体的なまちづくりや個性豊かで優れた人材の育成を図るための事業に対し、経費の一部を助成する	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
大空町	協定書 別表1 (7)ア	農畜産物販路拡大事業(イ)	農業者との連携により、集客力のある首都圏でアンテナショップを開設し、大空町の農畜産物の販路拡大や情報発信を行う	4,468	4,468	4,468	4,468	4,468

イ. 水産資源の確保				H23	H24	H25	H26	H27
16 網走湖の有用資源調査事業				4,354	2,154	2,154	2,154	2,154
網走市	協定書 別表1 (7)イ	網走湖有用資源総合調査事業 (ア)	網走湖の有用資源であるワカサギ、シラウオ、シジミについて現存量及び再生産状況の把握並びに水質環境について総合的に調査を行う	2,200	-	-	-	-
大空町	協定書 別表1 (7)イ	水産業振興対策補助金(ア)	網走湖の環境変化を早急に捉え、有用資源であるシジミ、ワカサギ、シラウオ、コイについて現存量、再生産状況の把握及び増養殖技術の確立を目的として実施する	2,049	2,049	2,049	2,049	2,049
大空町	協定書 別表1 (7)イ	網走湖環境改善対策基金積立 金(ア)	網走湖環境改善対策基金への積立て	105	105	105	105	105

II 結びつきやネットワークの強化

(1) 地域公共交通

ア. 地域公共交通の維持・確保

				H23	H24	H25	H26	H27
17 生活路線バスの維持・確保事業				33,619	28,619	28,619	28,619	28,619
網走市	協定書 別表2 (1)ア	生活交通路線維持対策事業 (ア)	市郊外地区及び周辺市町とのバス路線網を確保するため、運行経費の一部を助成する	20,592	20,592	20,592	20,592	20,592
網走市	協定書 別表2 (1)ア	地域公共交通活性化・再生総合事業負担金(イ・ウ)	地域公共交通総合連携計画に基づき、市内公共交通の利便性向上を図る計画事業を行う法定協議会に対して負担金を交付する	5,000	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)
大空町	協定書 別表2 (1)ア	生活路線バス運行維持対策補助金(ア)	生活交通路線維持のために、路線沿線市町村がバス事業者に対して経費の補填をする ・網走バス(網走美幌線)2,027千円 ・網走観光交通(網走東藻琴線)6,000千円	8,027	8,027	8,027	8,027	8,027

(2) 地域内外の住民との交流・移住促進

ア. 交流・移住受入体制の促進

				H23	H24	H25	H26	H27
18 移住促進体制強化事業				3,949	3,949	3,949	3,949	3,949
網走市	協定書 別表2 (2)ア	移住促進事業(ア・イ)	長期滞在や二地域居住者の受入れに重点を置き、大都市圏で長期滞在を中心に移住プロモーションを実施する。また、事業を通じた経済波及効果の可能性を探るため、民間事業者と賃貸物件や滞在型観光メニューの提供を通じて、課題の掘り起こしを行う	1,180	1,180	1,180	1,180	1,180
大空町	協定書 別表2 (2)ア	移住・定住対策事業(ア・イ)	定住をサポートする会による生活体験事業、首都圏等でのプロモーション活動、PR活動等、都市部への情報発信を行う	578	578	578	578	578
大空町	協定書 別表2 (2)ア	住替え促進事業(イ)	空家等情報登録制度により、定住促進や二地域居住といった他地域住民の交流拡大、定住人口の増加による地域の活性化を図る	1,720	1,720	1,720	1,720	1,720
大空町	協定書 別表2 (2)ア	グリーン・ツーリズム推進事業(イ)	大空町の豊かな地域資源と農村環境を活用した体験観光等のグリーンツーリズムを推進し、都市との交流拡大及び地場製品の消費拡大を推進し、地域産業の振興を図る	471	471	471	471	471

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化

(1) 人材の育成

ア. 人材の育成

				H23	H24	H25	H26	H27
19 産学官連携推進事業				0	0	0	0	0
網走市	協定書 別表3 (1)ア	東京農業大学との連携(ア)	東京農業大学で実施されている「オホーツクものづくり・ビジネス地域創成塾」などに参加し、産学官で連携しながら各種の研究を行い地域の活性化を図る	0	0	0	0	0
20 研究・研修機会創出事業				442	0	0	0	0
網走市	協定書 別表3 (1)ア	ニュービジネス研究支援事業 (イ)	経営革新や技術革新を成し遂げた事例や持続的に独自性を追求している会社経営者などを講師として招へいし、少数精鋭により、実践的なノウハウを学べるセミナーを開催する	442	-	-	-	-

(2) 圏域内市町の職員等の交流

ア. 市町間職員研修交流

				H23	H24	H25	H26	H27
21 圏域職員合同研修事業				4,711	4,686	4,711	4,686	4,711
網走市	協定書 別表3 (2)ア	一般研修費事業(ア)	・基礎研修として新規採用職員接遇研修、三次職員研修(政策形成)及び管理職研修を開催する ・特別研修としてコーチング研修を開催する	1,938	1,913	1,938	1,913	1,938
網走市	協定書 別表3 (2)ア	網走ブロック社会教育広域事業(ア)	社会教育の振興のため、各担当者における研修を行い、専門職員としての資質向上を図る (社会教育部門、社会体育部門、図書館部門) (参加自治体:網走市、大空町、小清水町、清里町、斜里町)	0	0	0	0	0
大空町	協定書 別表3 (2)ア	職員研修事業(ア)	職員の能力と資質の向上に努める職員研修を実施する	2,773	2,773	2,773	2,773	2,773
大空町	協定書 別表3 (2)ア	網走ブロック社会教育広域事業(ア)	社会教育の振興のため、各担当者における研修を行い、専門職員としての資質向上を図る (社会教育部門、社会体育部門、図書館部門) (参加自治体:網走市、大空町、小清水町、清里町、斜里町)	0	0	0	0	0

総事業費 2,051,308

網走市 1,377,363

大空町 673,945

参 考 资 料

懇談会における意見等一覧

【圏域の将来像】

- 基盤となる「まんまを食える」ようなことが大事であると、一言あっても良い。
食い扶持があって結果的に生活があるという目線が大事。
- もう少し美しく謳い上げて良いのではないか。この地域は本当に豊かな資源に恵まれているので、「こうやって生かしていけば、将来住民のみんなが豊かな生活を享受できるんだ」というようなことが書かれていれば。
- 夢がある、ロマンを感じるものを作った方が良い。
- 定住人口も大事だが、交流人口も増やさないと、新しい血も入ってこないし、刺激も出てこないし、消費も出てこない。
- 交流の次はリピーター、リピーターがサポーターになっていく。観光も重要な視点。
- 子供たちが夢を見られるまちづくり「定住圏」をつくっていくような。

【医療の分野】

- 全国的に救急医療の崩壊により、病院の閉鎖、診療科の閉鎖、医師の引き上げが盛んに行われている。
- これまで斜網地区には二次救急医療に関する制度がなかったが、昨年から各自治体に働きかけて、今年8月を目途に二次救急医療体制が確立できる見通し。
- 大学病院から派遣された医師の定着を図るためには、医師にとって住み甲斐のある、魅力あるまちであることが重要。医師の定着が、地域医療の充実に繋がっていく。
- 東藻琴地域は、救急搬送体制は網走地区消防組合で、医療体制は美幌医師会というような歪な形の中で、住民は大変な思いをしている。
- 救急医療や病院に対する住民(患者)の要望や不満は行政に届いているはずなのに、医師会や病院に対して行政からは何も言ってこない。病院はそれを聞きたいと思っている。
- 医療機関、自治体、住民の全てが一体とならなければ、救急医療や日常の医療を継続的に安定させることはできないし、向上させることもできない。

【広域観光の分野】

- 女満別空港を核とした国内外の観光客を誘致する努力を続けていかなければ、地域の観光資源は続かないだろう。
- 広域観光に向けて、どのような観光資源ができるかが課題であり、両市町の観光協会が連携しながら考えてみてはどうか。

- チャーター便が激減している中、着陸料や空港ビル使用料を無料にしなければ、他の空港に太刀打ちできないのが現実。利便性といっても、北海道の場合は全部千歳空港になってしまう。
- 空港ビル使用料を払えずに、テナントが退去するケースが結構ある。空港ビルと駐車場の使用料が高いのでもっと安くして、多くの人に利用してもらい、地元住民も楽しめるような空港にしてもらいたい。
- 大空町は空港ビル(株)に対し「空港賑わいづくり事業」の補助金を支出。
- 空港のPRも大切だが、基本的には観光資源の核になるものをアピールして、肉付けしていくことが大事。如何に人を誘致するかが一番の課題。
- 広域観光は、もう少し広い範囲で連携することが必要ではないか。ビジネスだからまとまらない部分もあろうかと思うが、北海道の中で奪い合うというのは悲しい思いがする。
- 地域の人が暮らしやすければ、それが形となって観光になっていくことが一番望ましい。
- 将来北方四島が世界的な観光資源になった場合、道東の「ゆるやかな田園風景、農村景観」が重要になってくる。行政側が報奨制度により、建物の壁や屋根の色を指定する取組ができれば、きれいな農村景観づくりを進められるのではないか。
- 高くてもわざわざ行ってみたい、最終的に住みたいとなるには、観光と環境が同じでなければならない。
- 環境教育が凄く大事で、利害関係が云々ではなく、地域全体の質・レベルを高くしていかなければ、観光はおぼつかなくなる。
- 広域観光の組織はたくさんあるが、うまく連携が図られていない。
- 造る観光と守る観光では捉え方にギャップがある。その辺りをうまく共存共栄できるようなビジョンがあって、リーダーシップをとってくれるところがあれば、他の組織も追随していけることはある。
- 網走湖は素晴らしい湖なのに、生活の中で利用されていない。観光からも少しはずれている感じがする。
- ただ自然を見せる通過型の観光ではリピーターも限られてくる。観光客を引き留めるには、網走川のサケ・マス捕獲堰(ウライ)でサケを捕っている様子やトラクターでビートを収穫する様子など、自然に溶け込んで生活している風景を見せるのも観光になる。

【教育の分野】

- 図書館はじめ芸術文化の取組は、数年前から両市町で連携している。
- 人を呼び寄せる魅力ある施設整備がされていない。
- スポトレの子供用施設は規模が小さい。教育、文化、芸術を総合的につながっているような整備をしていく必要がある。

- 網走市の社会教育施設には、美術館や博物館もあるので、これらの分野も具体的取組に入ってきて良いのではないかと。
- 子どもたちの教育等においても、両市町の社会教育施設を利用した新しい連携事業も考えられるのではないかと。
- 子どもにも大人にも教育の機会を広げる事項を、両市町でもっと話し合っていくことが凄く重要になってくる。
- 両市町単独の施設を共同で相互に利活用することにより、相乗効果が出てくることも、今後考えていかなければならないのではないかと。
- 大空町の体育施設の一部には、町外者用の料金設定がされているものがあるので、今後事業を進めていくうえで考えていく必要があるのではないかと。

【環境の分野】

- 土を大事にする農業は流域環境に優しく、漁業にも良いこと。環境と農業、漁業、市民生活は全部繋がっている。環境は地域の生き残り戦略であると考えているので、共生ビジョンに反映してもらいたい。
- 河川環境保全対策事業に網走川を入れてもらいたい。
- 網走川は泥水がひどく窒素が多いので、課題を載せてもらいたい。
- 河川環境保全対策事業の事業概要中「参加する」を「推進する」に変更してもらいたい。
- 大空町の藻琴川環境保全活動の事業内容の表現を修正してほしい。
- 川に親しむ親水性促進のための事業が、重要になってくるのではないかと。
- 両市町の子供たちが一緒になってカヌー下りなどの取組ができれば素晴らしい。
- 過去にも親水のイベントはいろいろ実施されてきたが、継続されずに単発で終わっている。
- 生ごみの現状と課題を、大空町と網走市を並べて書いたら、分かりやすい。
- ごみ分別による効果を埋立処分場のデータで比較するのも良いのではないかと。
- ごみ処理は重点項目として、いろいろな意見を集める仕組みも併せて考えた方が良いのではないかと。

【福祉の分野】

- 両市町間を移動する利用者の送迎を、両市町のボランティアが情報を共有し、連携が図られるのではないかと。
- 以前から、保育所の広域入所や子育て支援センターの広域利用が行われている。これを契機に、福祉サービスの分野での連携を考えていきたい。
- 障がい者や高齢者に対する具体的な事業が少ないので、来年度に向けた具体的取組を今後検討する必要がある。

- 子育て、障がい者、高齢者というカテゴリーの違うものを、一つの事業にまとめてしまうと、後々整理がしづらくなるので分けた方が良い。

【産業振興の分野】

- 両漁協と津別町農協の3者で取り組んでいる「網走川流域における農業と漁業の持続的発展に向けた共同宣言」を、ゆくゆくは大空町や美幌町にも広げていきたいと考えている。ついでに、農業も漁業と同様に産業としてひと括りに考えてもらいたい。
- 課題は、一次産業の方と地域で付加価値をどう高めていくかということ。
- 商工会議所と商工会が連携するとなると、スタッフも少ないので、具体的にテーマを絞った中で取り組むことが必要。地元産ブランド商品の開発や販路拡大など、探るべき方向は見えてきている。
- 既存の技術や製品などを何かの形でフォローできる制度（地産地消や地元調達など）を、将来的にビジョンに載せていければと考えている。

【地域公共交通の分野】

- バス事業は需給調整規制が撤廃され、特に貸切バスの単価が下落して、赤字路線に補てんできなくなっている。最近では路線バスの赤字分を自治体が補てんしている市町村も増えてきている。
- 網走バスが負担している郊外路線バスの赤字分は全体で年間2000万円以上あり、この点も含めて将来的に議論していただきたい。
- 自家用車に依存し過ぎている状況の中で将来、公共交通と呼ばれるものは市内線の一部を除いてなくなることも視野に入れなければならない。
- 車社会で人は点から点の移動のみになるので、街には人が歩かない、活気のない街になる。ラルズマートがなくなって、更にひどい状況になっている。まちづくりを含めて、住民啓発的なことも必要ではないか。
- まちづくりという一つの大きな枠の中で、あらゆる分野が有機的に積み上げてこなければ、交通機関だけを工夫しても成り立たない。
- 網走～東藻琴間のバス賃が高過ぎて、家計に大きな負担となっている中で、「定住しろ」と言っても非常に厳しい状況にある。
- 網走で一年を通してイベントが行われているが、東藻琴の人は足がないから行けない。交流人口が増える訳がない。
- 東藻琴の40%以上の人は、網走よりも近い美幌へ買い物に行っている。こういった実態をもっと掘り下げていかなければ、網走市と大空町の共存共栄はできないのではないか。

【人材育成の分野】

- 特に両市町の職員が交流や情報交換できる場を積極的に作っていくべき。ただ「一緒に勉強しよう」ということでなく、いろんな取組について「一緒に考えよう」という仕組みづくりができれば。

【その他】

- 両市町の様々なイベントで、地元製品のPRが行われている。付加価値を高めるためにも宣伝事業は非常に重要であると考えているが、人員や経費の面で負担もあることから、両市町が連携して効率的な宣伝事業が行われればと期待している。
- 企業も含めて地域が子育て支援をしっかりと、地域の人口が減らないようにする。地域の活性化を高め、豊かな地域に育てていく取組を広げていくことが課題。
- 観光であれば、情報を発信しなければ集客ができない。医療現場の状況も、情報を発信することにより、住民に気づいてもらえる。情報の発信が重要である。
- 行政側からもっと情報提供がされれば、その情報を活用して、自分達の地域活動を行っていきける。
- 医療、観光、公共交通などに限らず、どの分野でも情報が双方に理解されていることが重要である。
- 他の分野とつながっていなければ、分野別に物事を捉えてもあまり効果が出てこないのではないかと。次はもう少しダイナミズムのあるような中身にしていきたい。
- 医療、観光、公共交通に限らず、どの分野においても、いくつかの組織はあるけど連携がとれていない。もっとシンプルに結集する仕組みが作られていかなければいけない。
- そこの地域に住む人、来る人のために、如何に交通機関を維持するか、観光も如何に地元で付加価値を高めるために行動するかが重要である。
- 先進地の事例がこの地域でどれだけ対応できるかも含めて、この懇談会で協議し、網走市と大空町が女満別空港という拠点を持ちながら進めていく方向が見い出せればと考えている。
- 雇用の場を確立することが、定住に関しては特に重要になる。生活の糧が確立しているという前提であれば、網走は日本一住みやすいところ。
- 網走の地名や網走番外地の映画を知らない人が最近増えてきている。網走の地名の認知度を維持していく努力が必要ではないか。
- 網走は恵まれた地域であることを、みんなが長らく気付かされない面があったのではないかと感じている。
- 今後の課題としては、事業終了後に互いの地域が自立して定住できる共生ビジョンづくりの試金石にもなることから、連携から集約あるいは一体的に運営できるものは何か、今後5年間の共生ビジョンづくりの中で一層探っていかなければならないことだと考える。